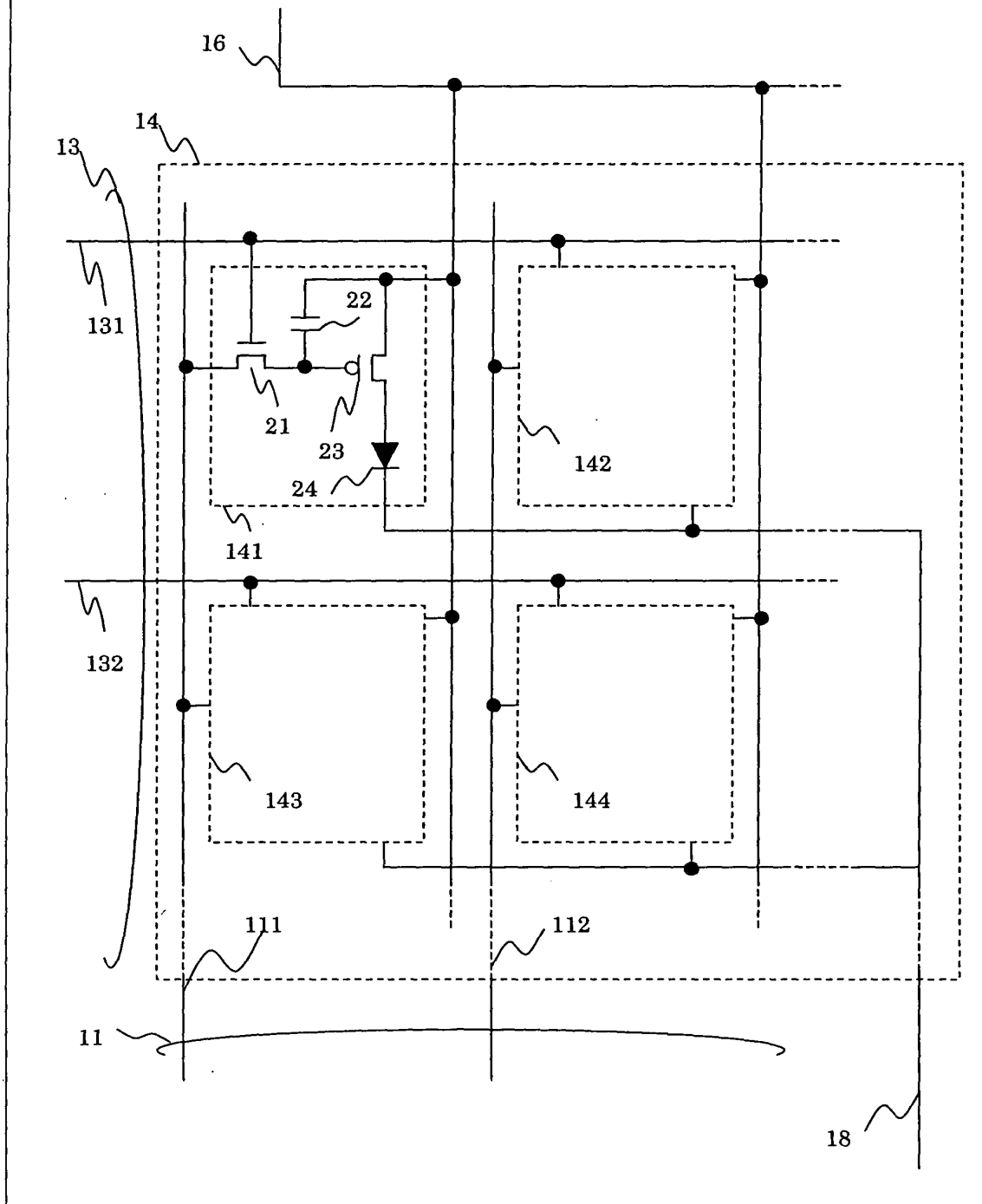


作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

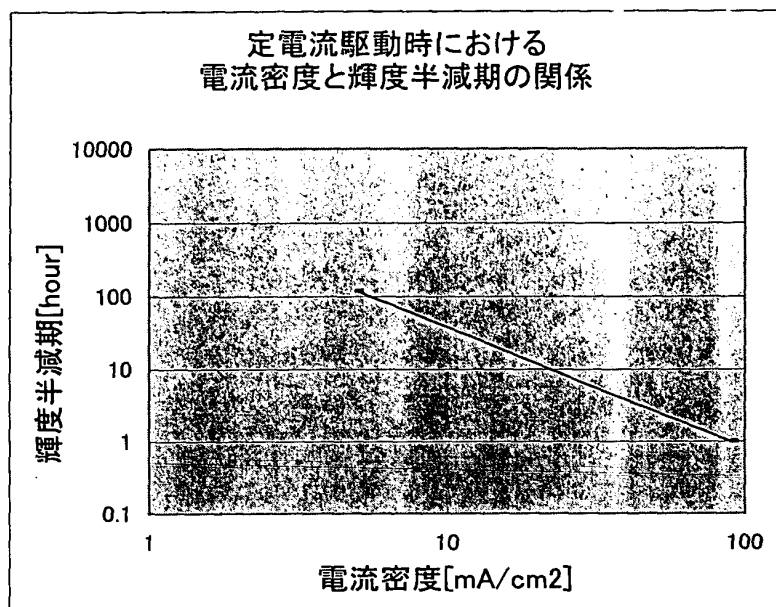
【図 2】



## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦215mm×横148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

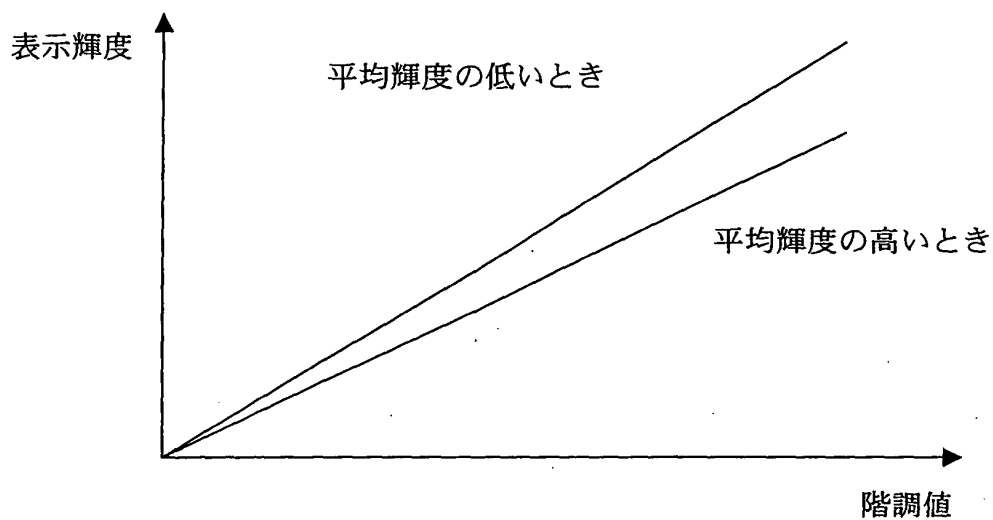
【図 3】



## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦) 215 mm×(横) 148 mm)に納める。
8. 図 1、図 2 などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 20 mm はなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12 ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A 4 サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

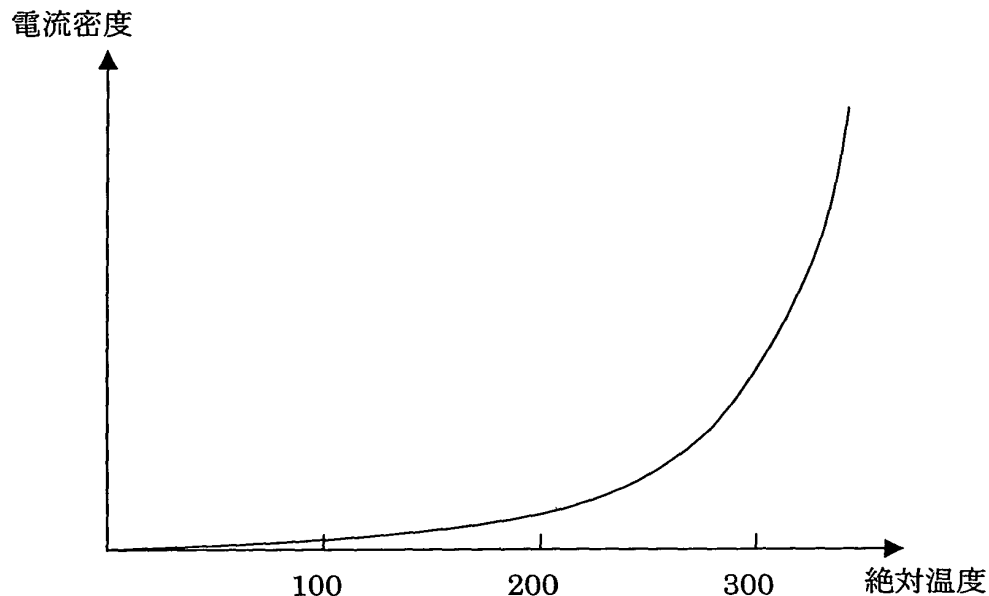
【図4】



## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

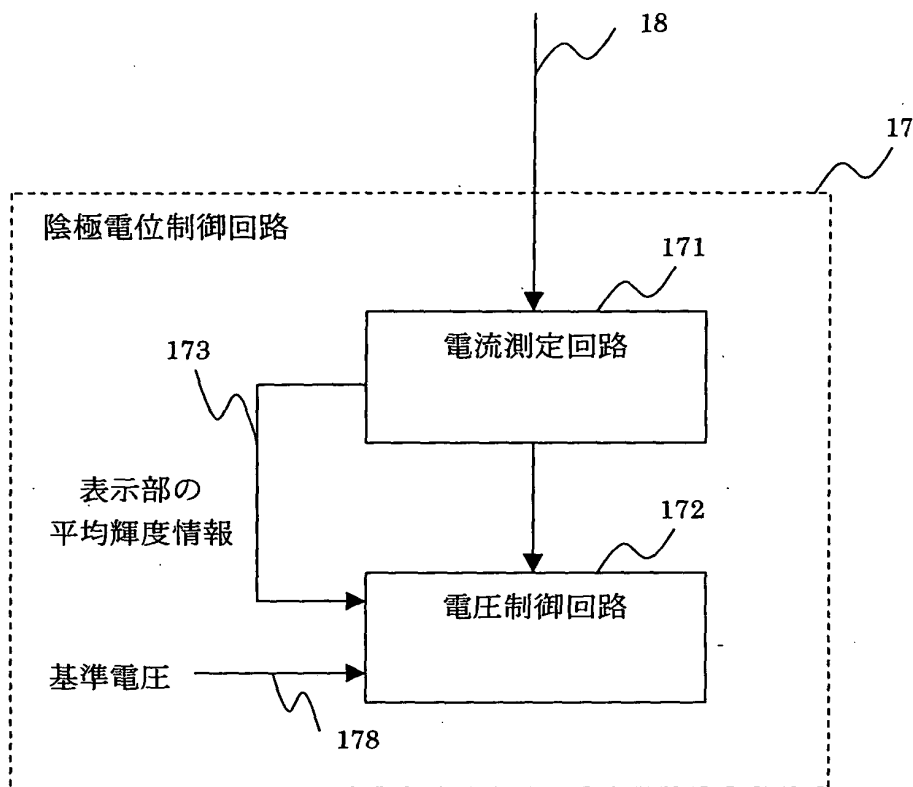
【図 5】



## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

【図 6】

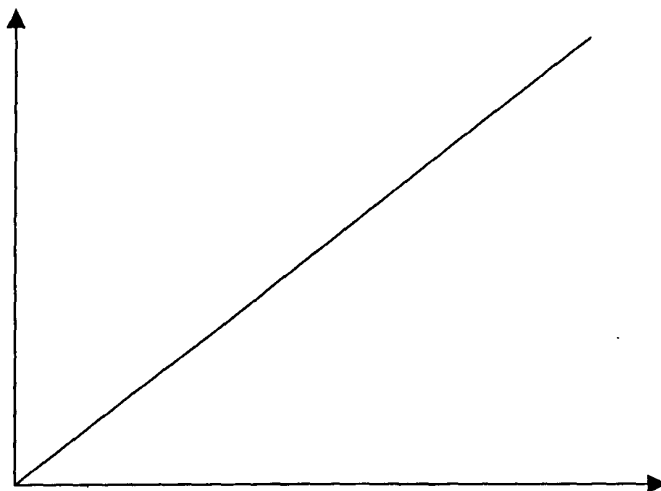


## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズ用の紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

【図 7】

表示部の  
平均輝度情報 1 7 3  
の信号電圧



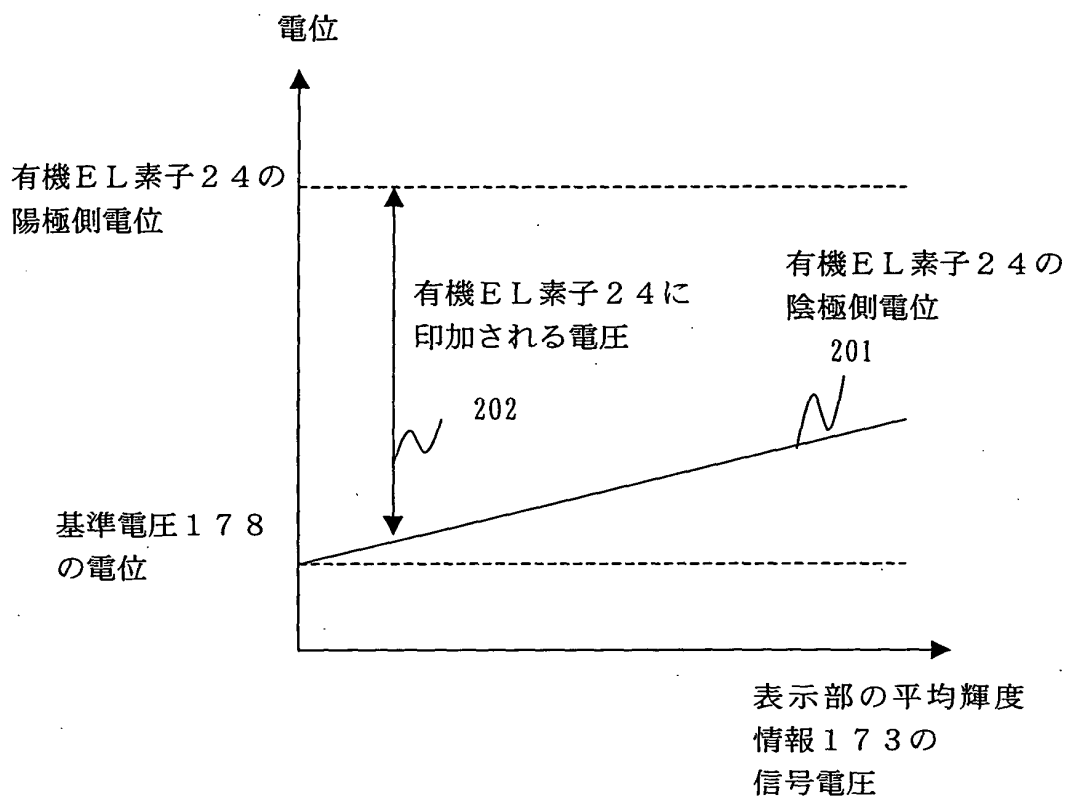
陰極電流線 1 8 の  
電流量

## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦 215mm×(横)148mm)に納める。
8. 図 1、図 2 などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 20mm はなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A4 サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

# 電子出願図面用紙 for windows

【図 8】

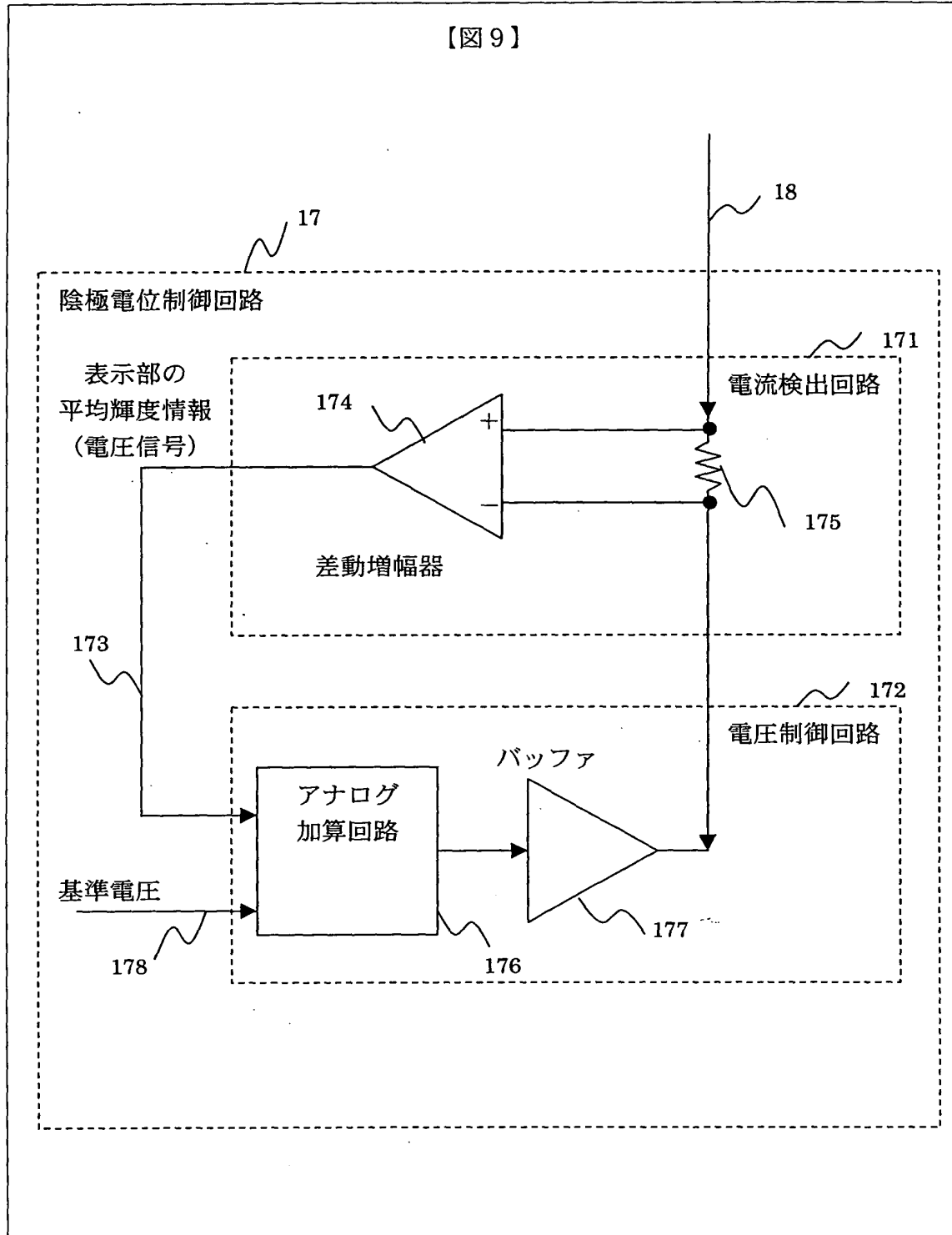


## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。



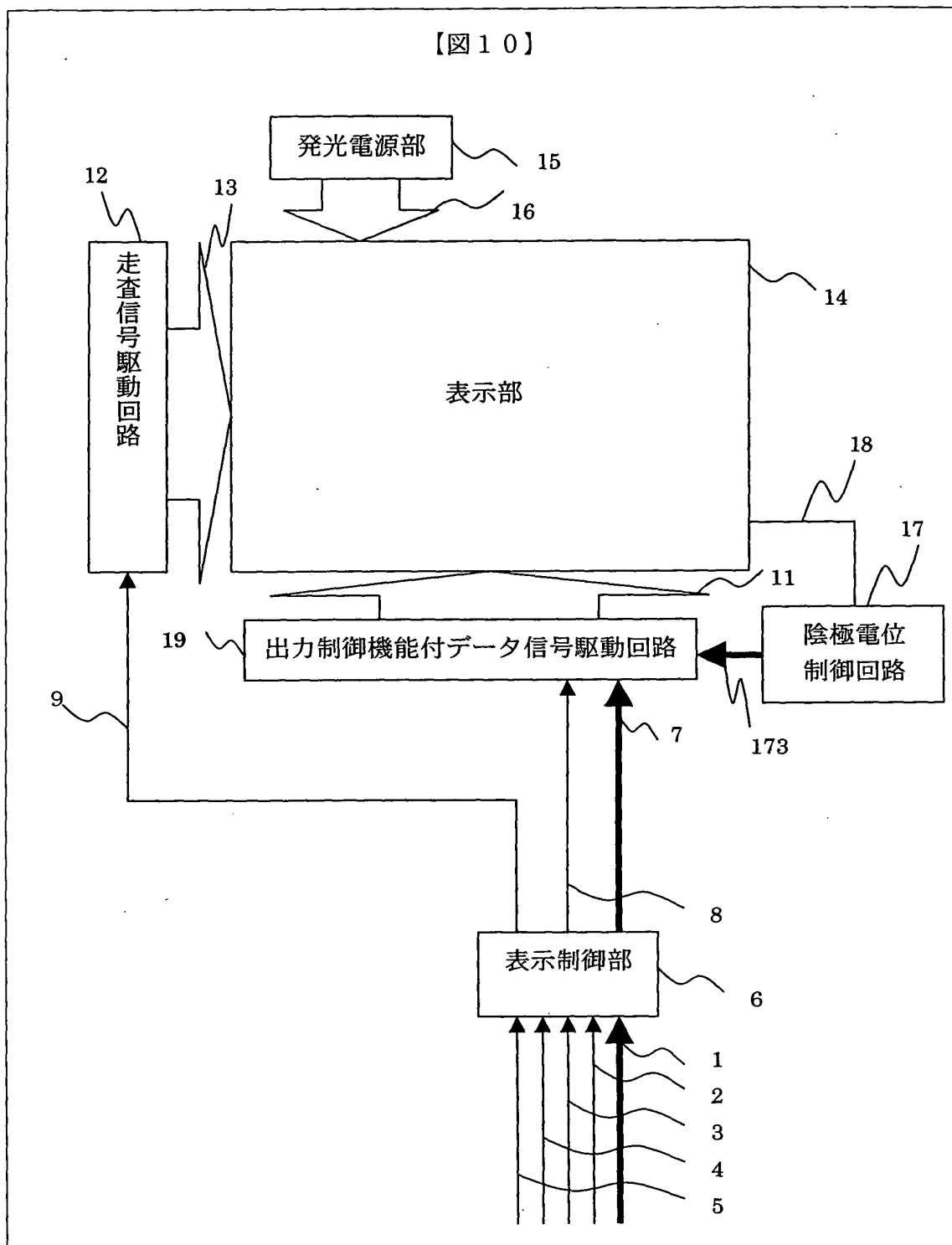
【図 9】



## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように接続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号 (アラビア数字) は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内 (縦) 215 mm × (横) 148 mm に納める。
8. 図 1、図 2 などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 20 mm はなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ (200 dpi) で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく (12 ポイント程度以上) する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A4 サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

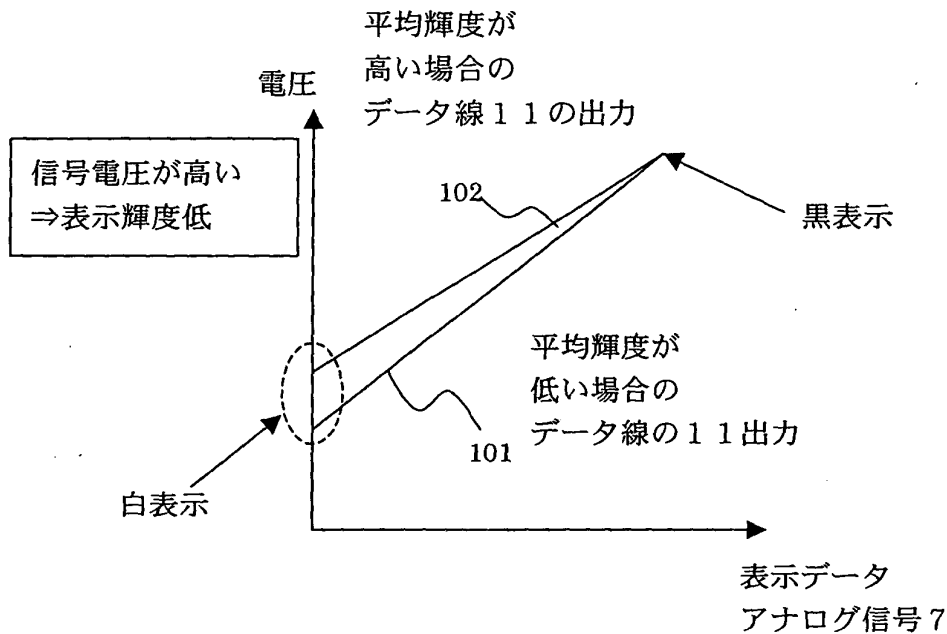
# 電子出願図面用紙 for windows



## 作成上の注意

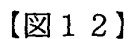
1. 発明の特徴を最も良く表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦) 215 mm×(横) 148 mm)に納める。
8. 図 1、図 2 などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 2.0 mm はなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12 ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A4 サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

【図 1 1】



## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を用いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦) 215mm×(横) 148mm)に納める。
8. 図 1、図 2 などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 20mm はなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリゾ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A4 サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。



1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。

2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号期に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦215mm×横148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
10. 図面は電子出願端末のイメージリード(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。

各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。

3. 中心線は記入しない。

4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。

5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。

6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。

7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。

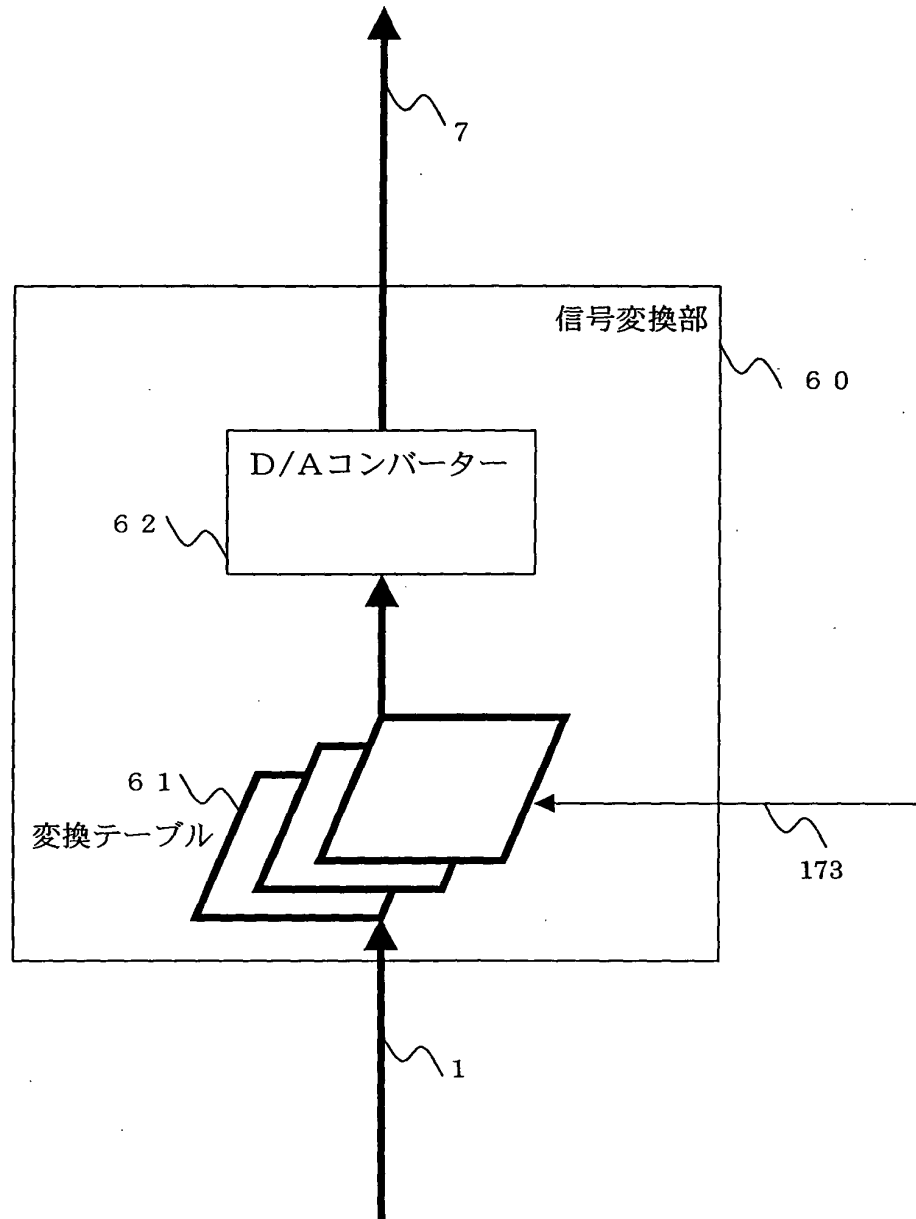
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。

1. 図面はA4サイズ of 用紙に縦長にプリントする。

2. 表、数式も上記に準じて作成する。

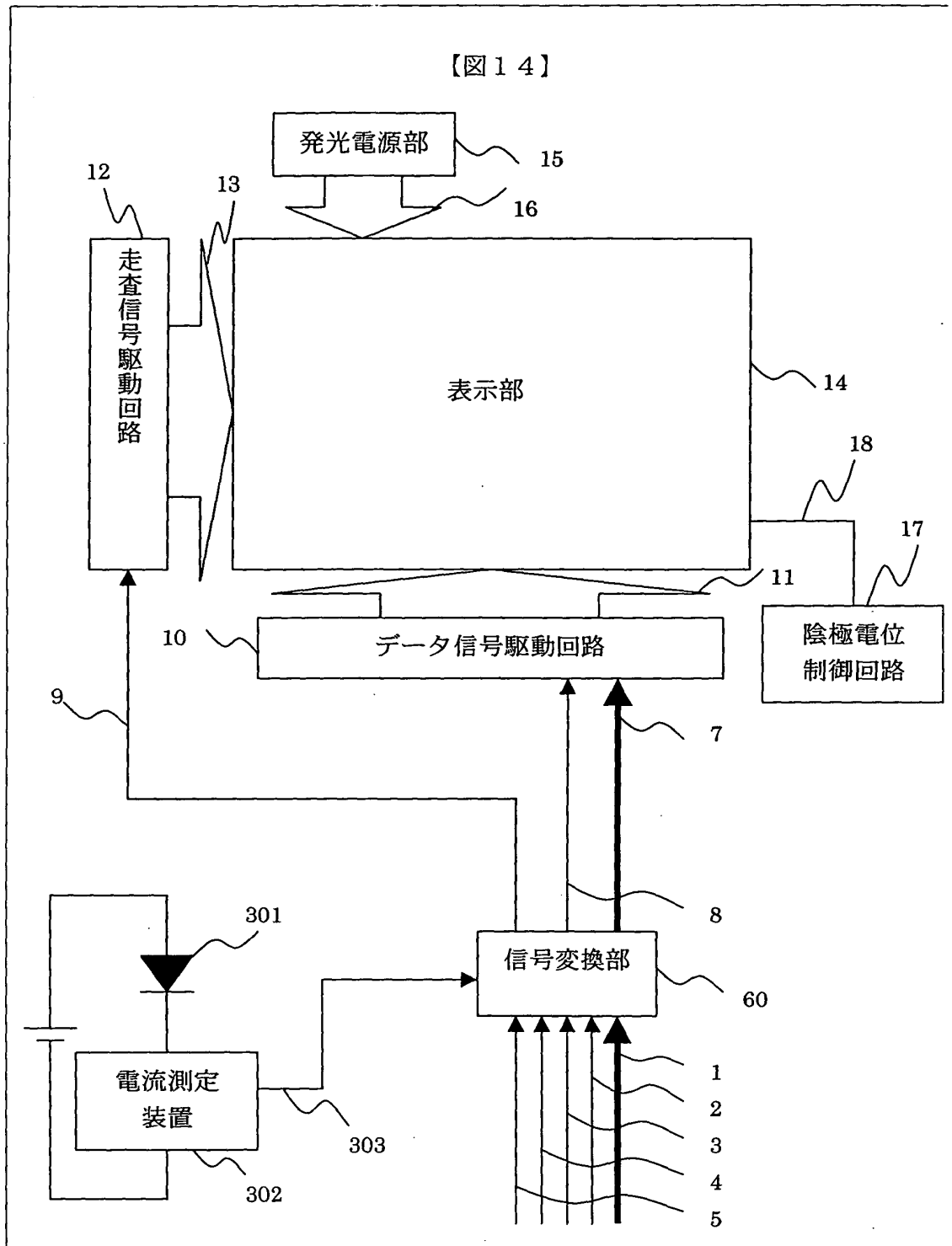
【図 1 3】



## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

# 電子出願図面用紙 for windows

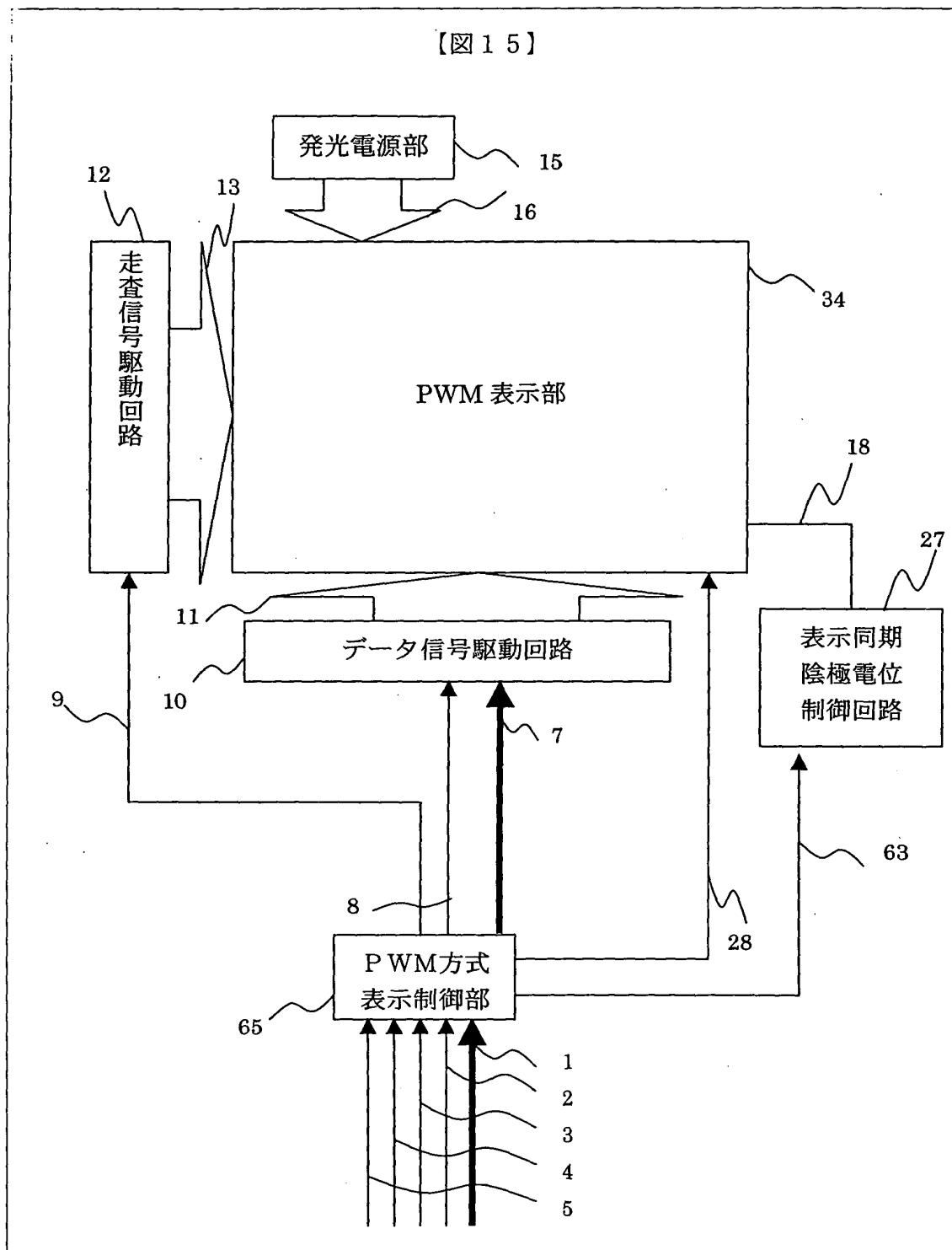


## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

# 電子出願図面用紙 for windows

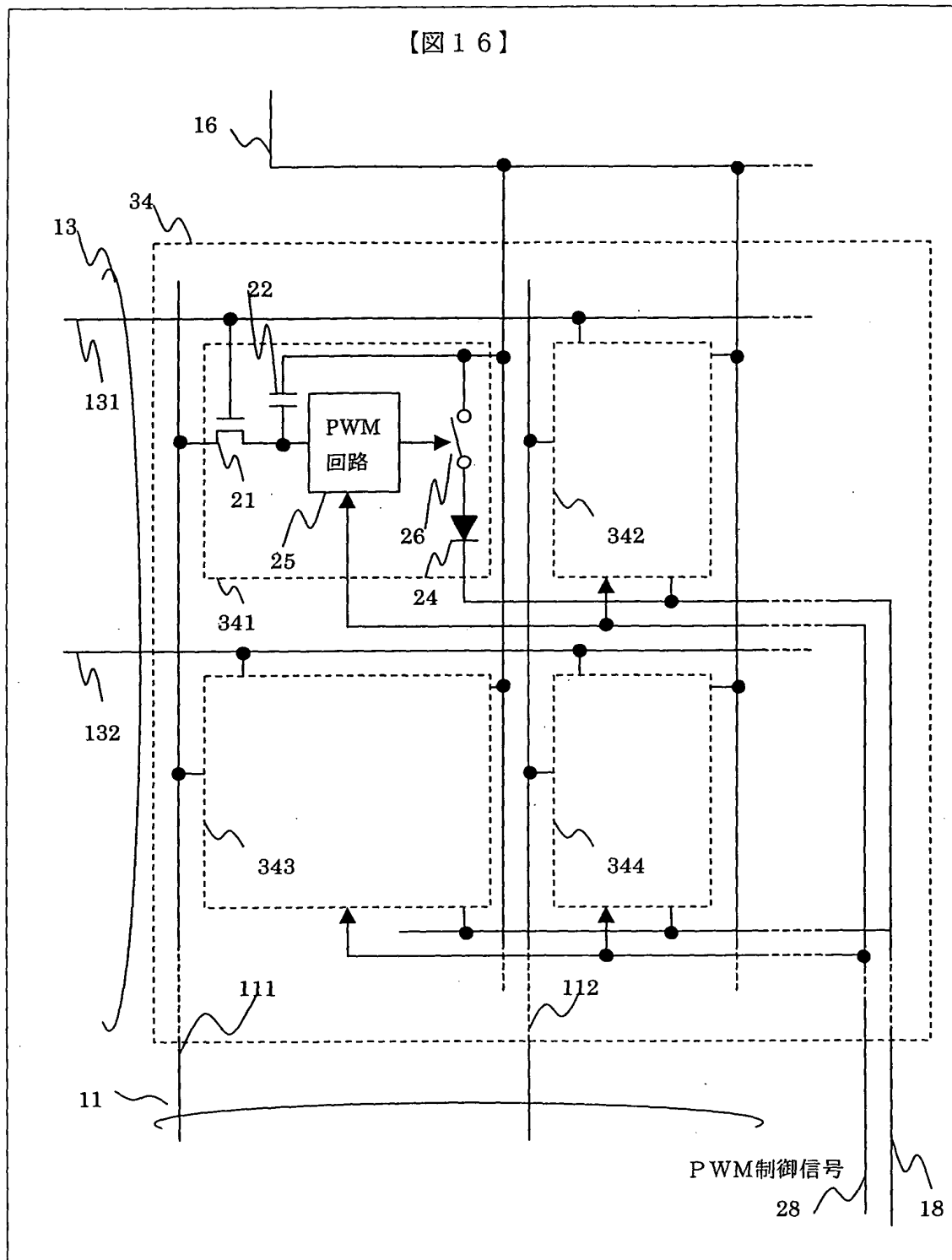
【図15】



## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように接続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦215mm×横148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

【図16】

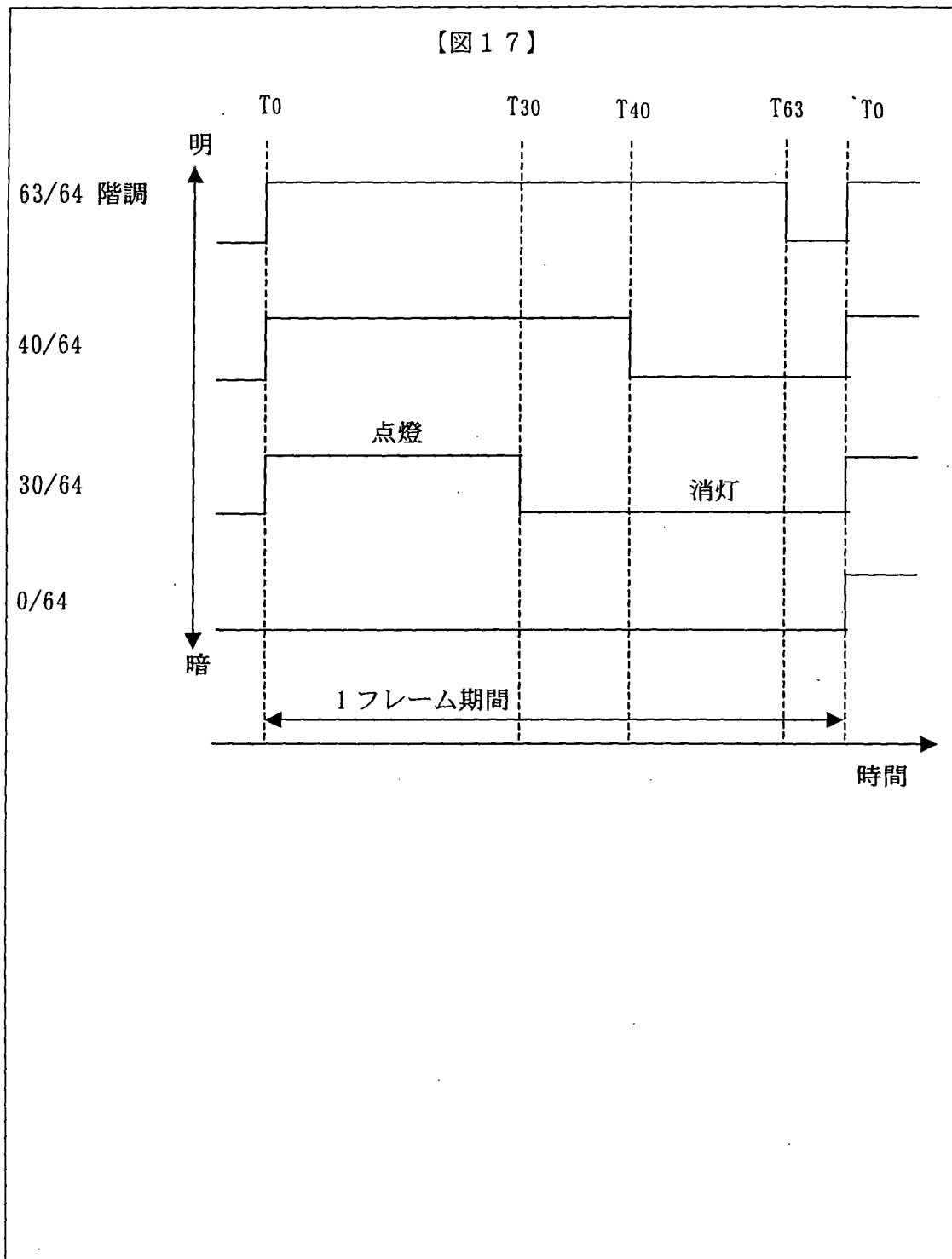


## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最もよく表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を用いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)21.5mm×(横)14.8mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。



# 電子出願図面用紙 for windows



## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

# 電子出願図面用紙 for windows

【図 1 8】

データ信号電圧	画素点燈時間
V63	T63
V62	T62
⋮	⋮
V2	T2
V1	T1
V0	T0

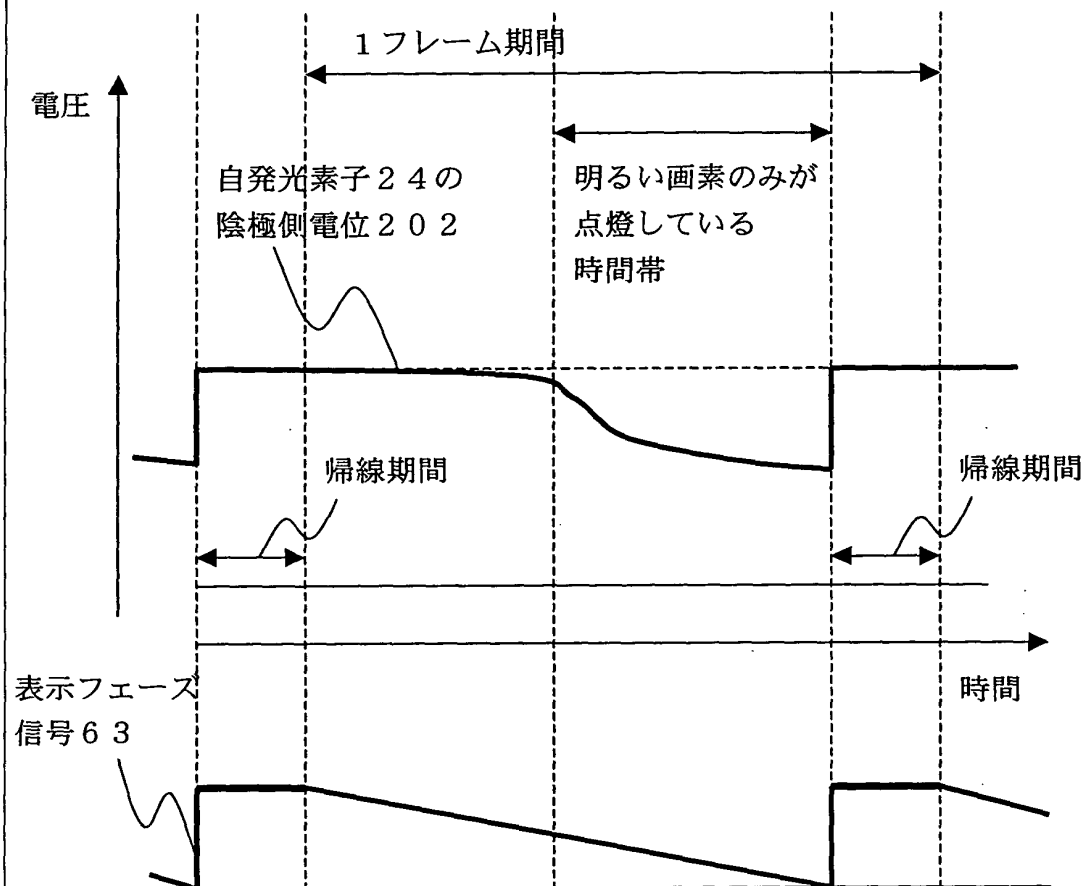
$$V_0 \leq V_1 \leq V_2 \leq \cdots \leq V_{62} \leq V_{63}$$

$$T_0 \leq T_1 \leq T_2 \leq \cdots \leq T_{62} \leq T_{63} \leq 1\text{frame}$$

## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦) 215mm×(横) 148mm に納める。
8. 図 1、図 2 などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 2.0mm はなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A4 サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

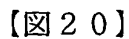
【図 19】



## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦) 215mm×(横) 148mm に納める。
8. 図 1、図 2 などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 20mm はなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A4 サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

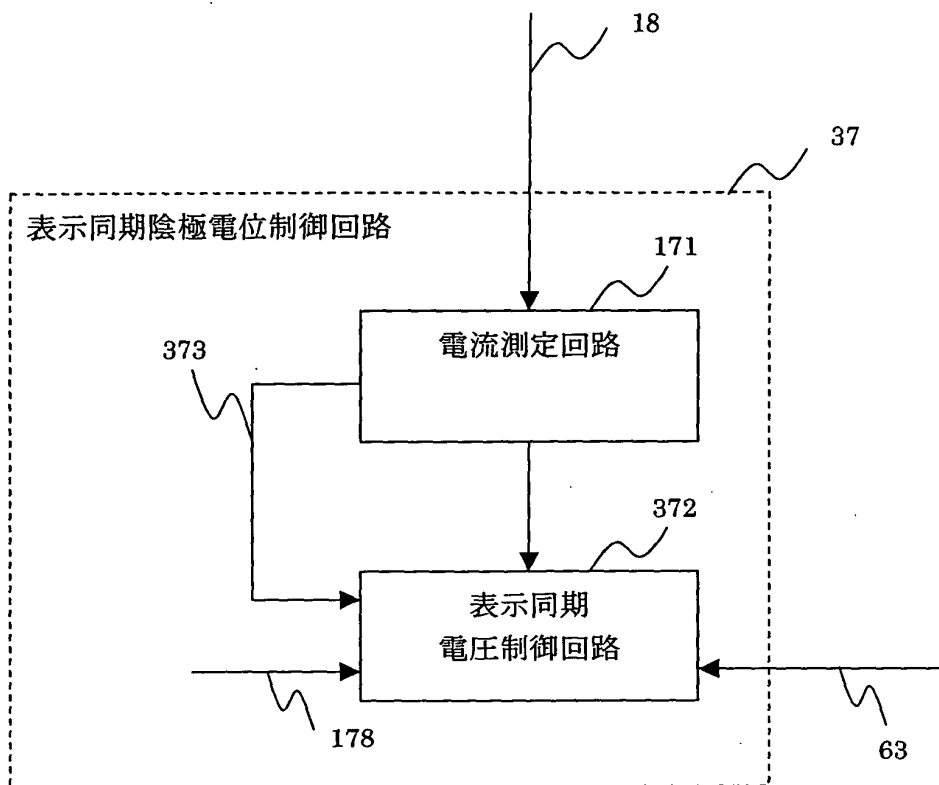
for windows



1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように接続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

9. 枠内につづ以上の図面を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出頭端末のイメージリダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(1ポイントに程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、散式も上記に準じて作成する。

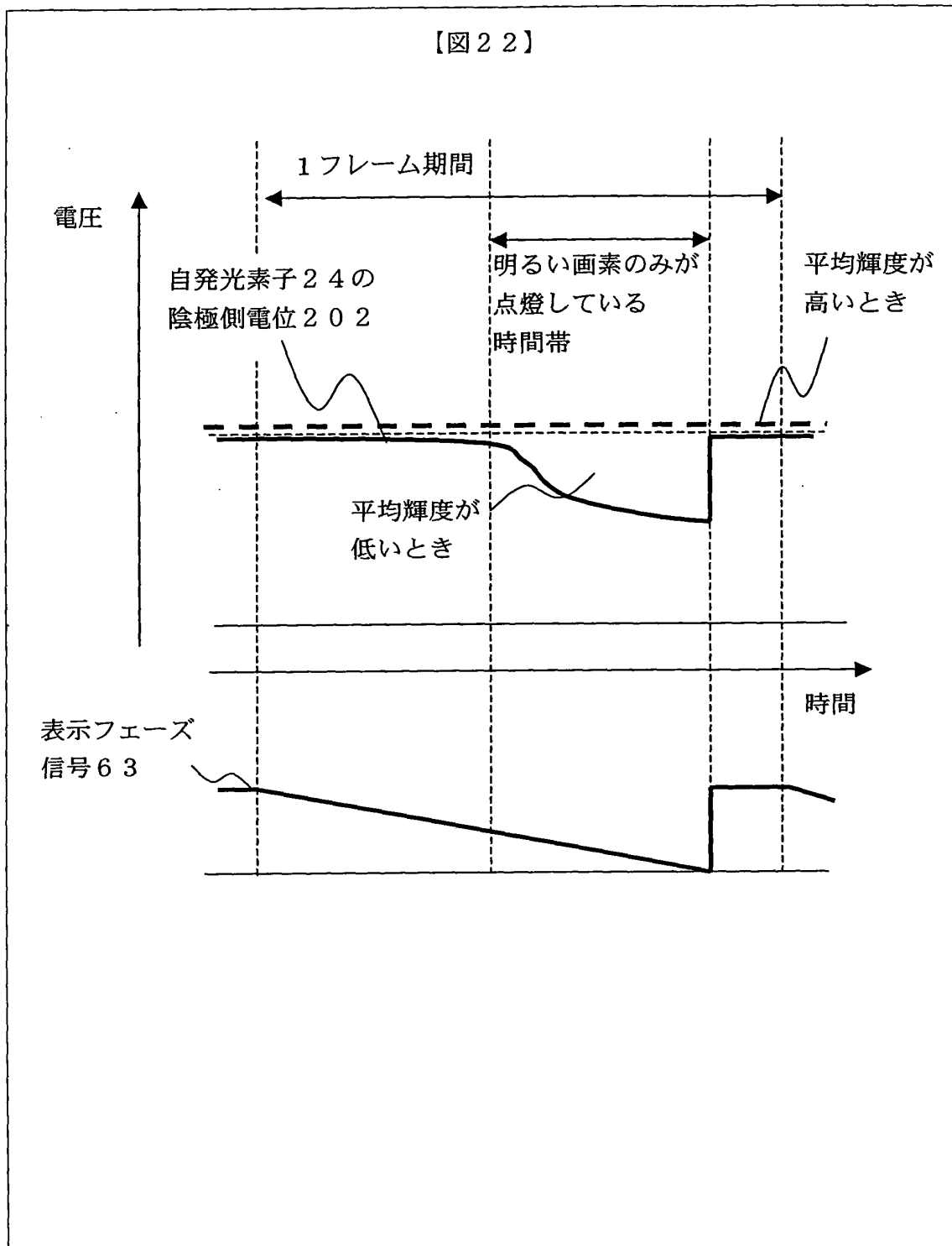
【図 2 1】



作成上の注意

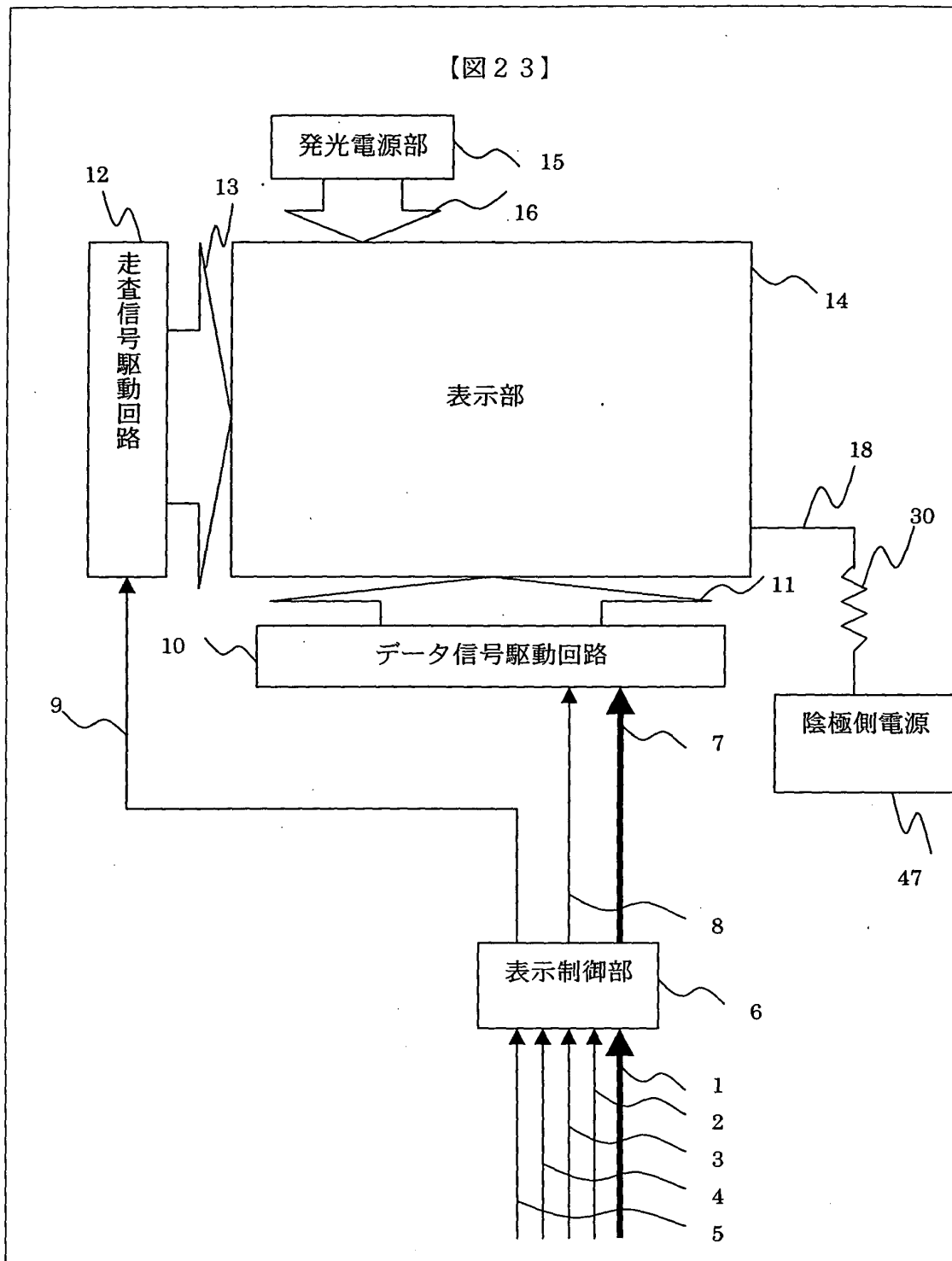
1. 発明の特徴を最も良く表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦) 215mm×(横) 148mm)に納める。
8. 図 1、図 2 などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 2.0mm はなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A4 サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

【図 2 2】



## 作成上の注意

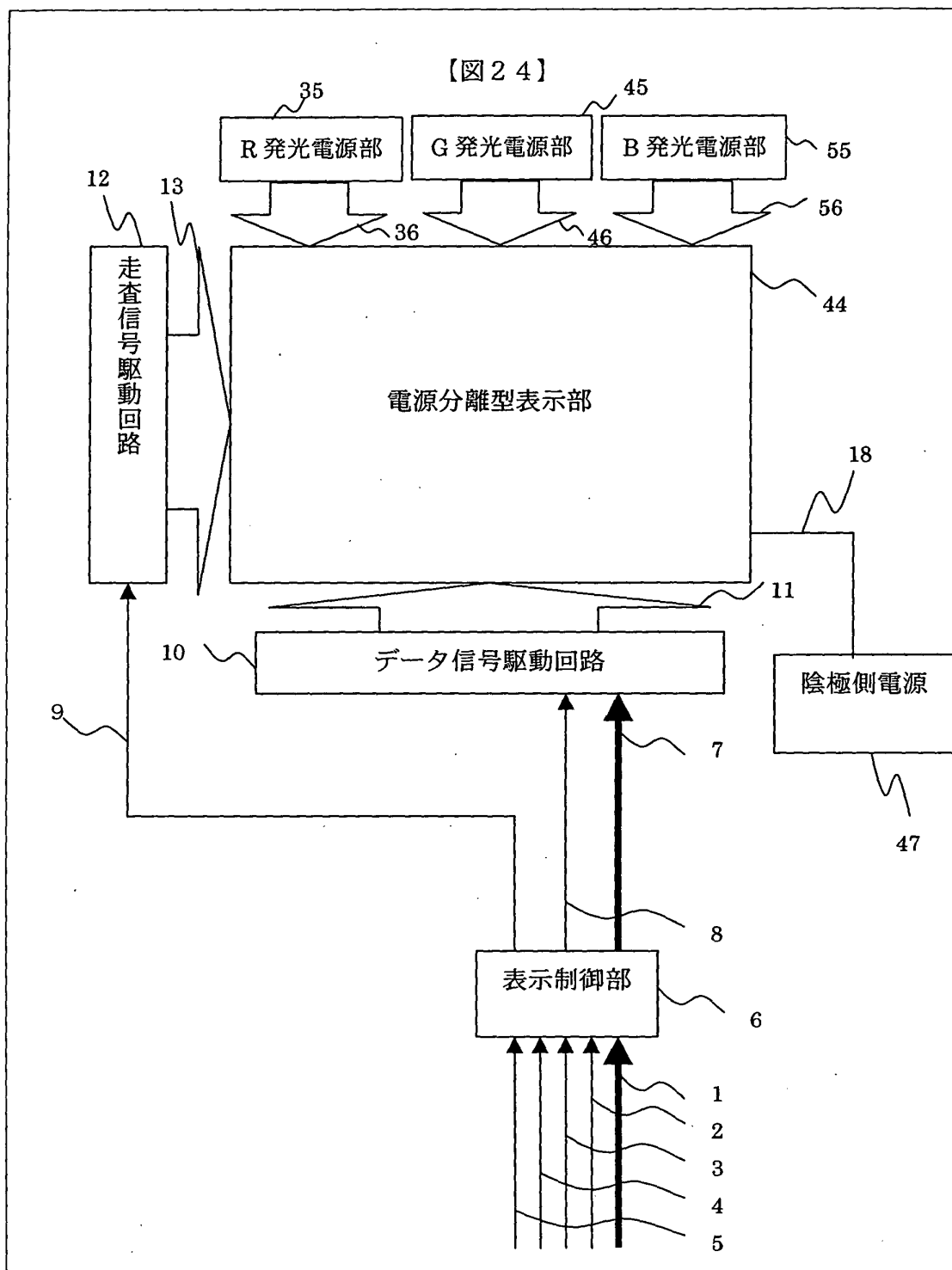
1. 発明の特徴を最も良く表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦) 215mm×(横) 148mm)に納める。
8. 図 1、図 2 などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 2.0mm はなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A4 サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。



## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

# 電子出願図面用紙 for windows

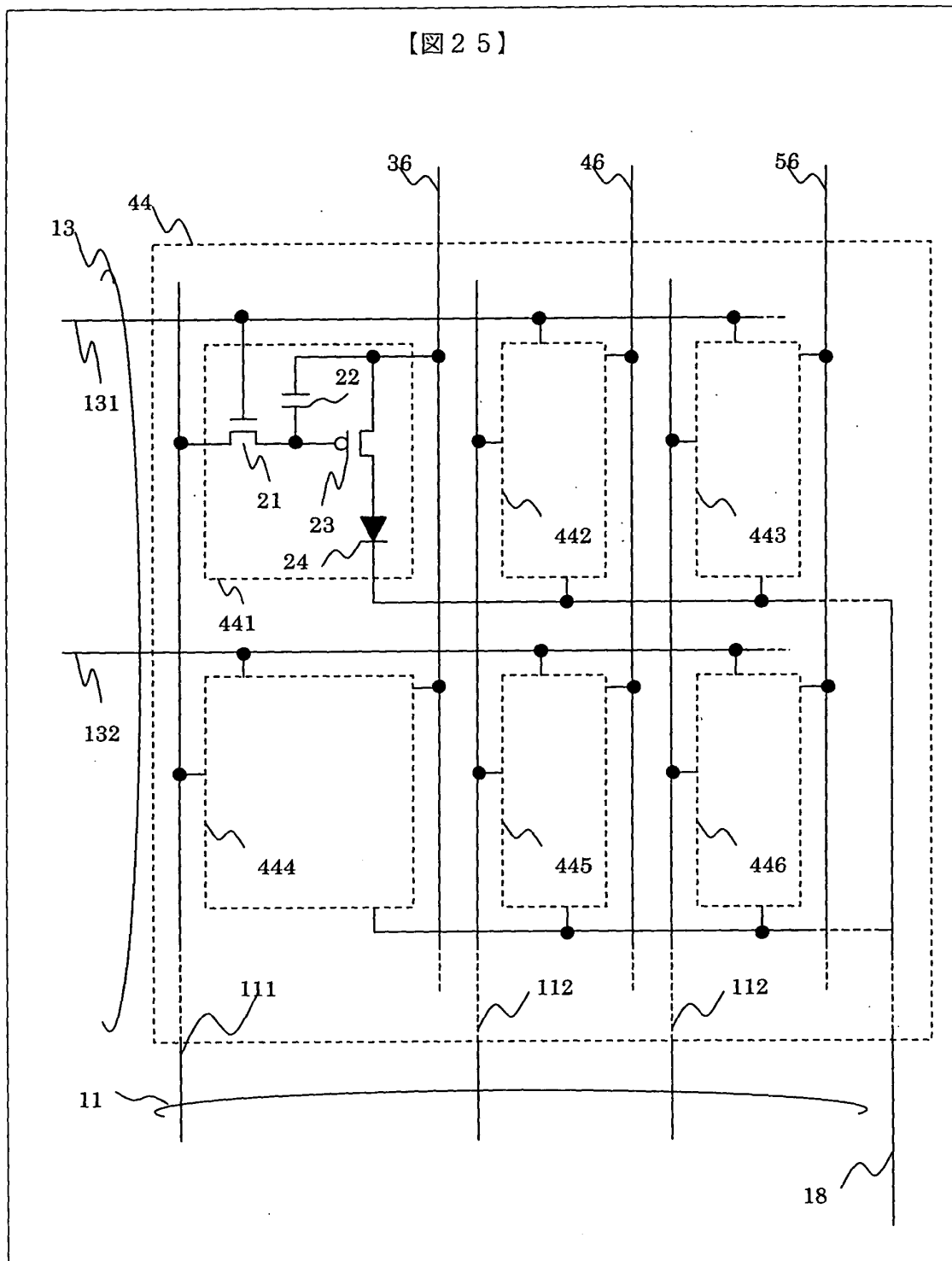


## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。



【図 2 5】



## 作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
  - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
  - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズ用の紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。